

第22回 参議院議員通常選挙富山県選挙区自由民主党候補者予備選挙



の が み こう た ろ う 野上浩太郎

○昭和42年5月生まれ(42歳)、県立富山高校、慶應義塾大学卒。三井不動産(株)に入社し、地域活性化のための街づくりに取り組む。
○平成11年 富山県議会議員に当選。
○平成13年 参議院議員に当選。予算委員会理事、財政金融委員会理事、参議院国対副委員長等を務める。
○平成17年 財務大臣政務官に就任。 ○妻、長女、次女、長男、両親。

党員党友の皆様、日頃からのご厚情に深く感謝申し上げます。前回参院選では、私の力及ばず、議席を失い、心よりお詫び申し上げます。私は、この二年余、街頭に立ち、地域を歩き、草の根運動に徹する中で、生活の苦しみや将来への不安、政治に対する怒りを体中に染み込ませてきました。

緊急課題は、景気を回復させ、雇用と生活を守ることです。現政権下で地方は疲弊し、外交、財政等、国の根幹が大きく揺らいでおり、これらを建て直すには、自民党が国民の信頼を取り戻し、政権を奪還する以外に道は無いのです。

「自民党を、地方を、日本を、この富山から建て直すために立つ！」という強い決意で、全国一の組織力である富山県連の底力を信じ、命がけで突き進む所存です。何卒、温かいご支援を切にお願い申し上げます。



やまべ美嗣 み つ ぐ

富山県議会議員。通産省でエネルギーや環境、地方経済などを経験。国連などの海外勤務経験も。東大卒。現在、自民党県連総務会長、庄川沿岸用水土地改良区連合理事長、富山県交通安全協会理事、北陸菊花協会会長、南砺市友好交流協会会長など。57歳。妻、母、子供4人。

「ふるさとから未来をつくろう」が私の信条です。富山の未来、日本の未来をつくるために全力を尽くします。私の主な活動と考えを記し決意のあかしとします。

●地産地消は私が富山県総合計画に提案して始まりました ●日本、ロシア、欧州間の国際物流構想の出発点が富山となるようロシア外務省などへ直接交渉 ●北陸新幹線全線開通・新交通システムに全力 ●富山県議による第一号条例制定を主張し実現 ●医療・福祉・外交・防衛、国家的問題も国任せにしない ●子供は宝、子育て・教育は未来への投資 ●入札時の地元貢献企業の評価拡大実現

●色濃くなる不況の影、将来への不安。今こそ情熱と勇気をもって未来を開かねばならない！ ●皆様のご期待とご支援、心から感謝します。